



# 図書館だより

図書館林-ム°-ヅアト`ルィ <http://lib.city.iruma.saitama.jp/>

No.36

平成31年4月号

【4・7・10・1月発行】

発行：入間市立図書館

本館 04-2964-2415

西武 04-2932-2411

金子 04-2936-1811

藤沢 04-2966-8080



## 春です！図書館に行こう！

図書館にあるのは、小説や雑誌だけではなく。中には、ちょっと聞き慣れない種類の「図書」が置いてあります。今回は、そんな図書たちのコーナーをご紹介します。

### 点字つき・さわる絵本

点字だけでなく、絵の部分も触れるようになっている隆起（りゅうぎ）印刷をほどこしてある絵本です。既製のものだけでなく、点訳ボランティア「入間六ツ星会」や「点訳絵本の会」の皆さんが作製した絵本もあります。「点字つき・さわる絵本」は、見えない子だけのものではありません。見える子も見えない子も、さわって読んで、一緒に楽しみましょう！

\*所蔵館：本館・西武分館・金子分館・藤沢分館



「さわってたのしむどうぶつずかん てんじつきさわるえほん」ビーエル出版《480》

ゾウやライオンなどの特徴を紹介した点字つきの図鑑。写真には、毛皮の温かい感じや、うろこのなめらかさなど、各動物を連想させる表面加工をほどこしてあります。

### LLブック



「LL」とは、スウェーデン語の「Lättläst」（レットラスト）の略で、“やさしくてわかりやすい”という意味です。

「LLブック」とは、本を読んだり、本の内容を理解したりすることが苦手な人が、やさしく読めるように、写真や絵、わかりやすい文章、そしてピクトグラムなどを用いて内容がわかりやすく書かれた本のことをいいます。どなたでもご利用いただけますので、どうぞ手に取ってごらんください。

\*所蔵館：本館



「ともだちってどんなひと？」赤木かん子／著 埼玉福祉会出版部《158/A》

「知っている人」＝「ともだち」ではないかもしれないことを、シンプルな言葉で伝えます。

### 録音図書 ～DAISY(デイジー)図書～

活字の図書は、視覚に障害のある人たちには読みにくいか、または読むことができません。そこで、耳で聴いて読書できるように朗読し、その音声を収録したものが録音図書です。その中でも、視覚障害者向けデジタル録音図書でCDのような形をしたものがデイジー図書で、専用のプレイヤー等で聴くことができます。（デイジー（DAISY）とは、Digital Accessible Information Systemの略で、世界50か国以上で採用されている国際標準規格です。）図書館には、約60点のデイジー図書があります。これらは、主に、入間市朗読ボランティアグループ「はづき」の皆さんが作製したものです。

\*所蔵館：本館



\*DAISY（デイジー）図書は、視覚に障害のある方が対象です。貸し出しには、視覚障害者利用登録を必要としますので、詳しくは図書館本館（☎04-2964-2415）まで、お問合せください。

# 日高市の図書館も相互利用が可能に！

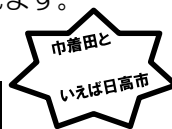
平成31年4月1日から、日高市が「埼玉県西部地域まちづくり協議会」\*(ダイアプラン)に加わりました。入間市にお住まいの方(在勤・在学対象外)は、日高市の図書館で貸出等のサービスを受けられます。

日高市立図書館について ↓

電話番号	042 (985) 5121
所在地	埼玉県日高市大字鹿山 370-20 (生涯学習センター内)
開館時間	午前9時～午後7時
休館日	毎月最終月曜日・年末年始・特別整理期間・施設管理期間
貸し出し	図書：15冊 15日間
点数・期間	視聴覚資料(DVD・CD・カセットテープ・ビデオテープ)：2点 15日間
アクセス	JR高麗川駅より徒歩約7分
駐車場	50台(障がい者用あり)
その他	視聴覚コーナー、多目的トイレ、返却ポスト、カフェコーナー等あり

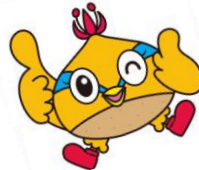
※貸出券は日高市立図書館のものが必要になります。

※くわしくは日高市立図書館に直接お問い合わせください。



日高市マスコットキャラクター

「くりっかー」



日高市マスコットキャラクター

「くりっぴー」

## 【事業報告】

### 本館「児童文学講演会」 ～絵本を通して心の平和を～

3月10日(日)に、絵本作家で画家・詩人でもある葉祥明ようしょうめいさんの講演会を行いました。(会場：西武分館)

葉さんには、絵本を通じた心の平和についてだけでなく、創作活動などについてもお話いただきました。

そして、最後には、ご自身の詩の朗読も！BGMにのせた詩の朗読は、心地よく、貴重な時間を過ごすことができました。

葉さん、ありがとうございました。



### 西武分館「春のおはなし会」

#### ～こどもの読書週間関連事業～

とき：4月27日(土) 10:30～11:30

対象：乳幼児から小学生までと保護者

内容：春にちなんだ絵本の展示や読み聞かせ、折り紙など

定員：30名(先着順)

参加費：無料

協力：読み聞かせボランティアグループ

「かざぐるま」

## \*埼玉県西部地域まちづくり協議会

まちづくり協議会とは、複数の市町村が自発的に連携して、地域の特性を活かしたまちづくりを進める広域行政推進体制です。埼玉県西部地域まちづくり協議会は、Dramatic creative city(ドラマチックな創造都市づくり) Interaction system(さまざまな交流を可能とする活動、交流システムづくり) Amenity network(誰もが憩える水と緑のネットワークづくり)を計画の柱としており、その頭文字をとって「ダイアプラン」という愛称になりました。

### 本館「春のおはなし会スペシャル」

#### ～こどもの読書週間関連事業～

4/23～5/12は「こどもの読書週間」です！

とき：4月27日(土) 14:00～15:00

28日(日) 14:00～15:00

対象：幼児から児童とその保護者

内容：絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊び、びょうぶ絵本作り

参加費：無料

協力：読み聞かせボランティアグループ

「どんぐり」



### 西武分館「ウィークエンド・シネマ」

とき・内容：

4月 6日(土)・汚名(1946年、101分)

4月 20日(土)・くちづけ(2013年、123分)

5月 4日(土)・リトル・ブッダ(1993年、141分)

5月 18日(土)・サンセット大通り(1950年、110分)

6月 1日(土)・理由なき反抗(1955年、111分)

6月 15日(土)・雄呂血(1925年、75分)

※時間はいずれも14:00～

対象：一般

定員：先着120名(申込不要)

参加費 無料

駐車場が狭いため、車でのご来館はご遠慮ください。

### 西武分館「GW（ゴールデンウィーク）子どもえいが会」

とき：5月5日（日・祝）10：30～11：30  
対象：幼児から小学生までと保護者  
内容：アニメ「おれたち、ともだち！」（全4話）  
定員：120名（先着順）  
参加費：無料

### 西武分館「七夕こうさく会」

とき：6月30日（日）10：30～11：30  
対象：幼児から小学生（保護者同伴可）  
内容：七夕の絵本の読み聞かせと、星や光にちなんだ工作  
定員：12名（申込先着順）  
参加費：無料  
申込：6月8日（土）9：00から西武分館（電話可）

### 金子分館「子ども読書の日「おはなし会」スペシャル」

**4/23は「子ども読書の日」です！**

とき：4月18日（木）11：00～11：30、  
15：30～16：00  
20日（土）11：00～12：00

ところ：4/18 金子分館、4/20 金子公民館  
内容：絵本、紙芝居の読み聞かせ。4/20（土）は簡単な工  
作もあり。

参加費：無料  
協力：読み聞かせボランティアグループ  
「茶の花」

### 金子分館「樹木医が語る金子分館の周りの自然」

とき：5月25日（土）14：00～16：00  
ところ：金子公民館  
対象：小学生以上  
内容：金子分館周辺の植物観察、採集した植物の解説、  
園芸・家庭菜園相談会  
定員：40人（先着順）  
参加費：無料  
講師：樹木医 石井誠治氏  
申込：5月4日（土・祝）9：00から金子分館（電話  
可）

### 金子分館「1日図書館員」

とき：5月18日（土）14：00～16：00  
19日（日）14：00～16：00  
対象：入間市在住の小・中学生  
内容：カウンターでの返却・貸出、本の整理等  
定員：各回3名（申込先着順）  
参加費：無料  
申込：5月4日（土・祝）9：00から金子分館（電  
話可）

### 藤沢分館「古典朗読会 古典にふれてみよう」

サークル「古典の会」による朗読会です。  
声に出して一緒に古典の響きを楽しみませんか？  
とき：4月14日（日）14：00～15：00  
対象：一般  
内容：竹取物語など ※変更する場合があります  
定員：10名程度  
参加費：無料

### 藤沢分館「春のおたのしみ会」

とき：4月20日（土）11：00～11：45  
ところ：藤沢公民館  
内容：大型絵本、パネルシアター、大型紙芝居、手遊  
び等  
定員：80名（先着順）  
参加費：無料  
協力：読み聞かせボランティアグループ  
「トトロ」



## ♡ 読み聞かせボランティアグループの広場 ♡

図書館で活動している、読み聞かせボランティアグループの どんぐり（本館）・かざぐるま（西武分館）・茶の花（金子分館）・トトロ（藤沢分館）です。各グループより、最新情報をお届けします。

**どんぐり** 冬のおたのしみ会に向けて、新しいものを作ろう！！の話が出ています。素敵なものを制作したいなあと思っています。お楽しみに、待っていてください。

**かざぐるま** 春の光が輝き始めると色彩あふれる絵本を読み聞かせしたくなります。4月27日は春のおはなし会を開催します。種々の本をそろえて、手に取っていただけますよう準備してまいります。どうぞ遊びにいらしてください。

**茶の花** 夏、冬のおたのしみ会にむけての内容を話し合っています。3つぐらい決まりました。それはね…おっと、まずは、夏のおたのしみ会に来てみてね。

**トトロ** 4月20日（土）「春のおたのしみ会」では、手袋人形、パネルシアター、大型絵本、大型紙芝居等をお届けします。お楽しみに！

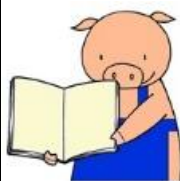
図書館各館では、定期的におはなし会を行っています！どうぞお気軽に足を運んでくださいね！

本館 とき：毎週土・日曜日、休日 14：00～14：30、第3火曜日 11：00～11：30  
内容：絵本や紙芝居の読み聞かせ、おりがみなど

西武分館 とき：毎週水・土曜日 10：30～11：00  
内容：絵本や紙芝居の読み聞かせ、ストーリーテリング（第1土曜日）

金子分館 とき：毎週木曜日 15：30～16：00、第3木曜日、第1・3土曜日 11：00～11：30  
内容：絵本や紙芝居の読み聞かせなど

藤沢分館 とき：毎週木曜日、第1・3土曜日 11：00～11：30  
内容：絵本や紙芝居の読み聞かせ、手遊びなど



# 子ども向けBookガイド

2019年1月から3月までに入間市立図書館に入った子どもの本の紹介です。

『ぼくは本を読んでいる。』ひこ・田中／著 講談社《913/ヒコタ》

ぼくの家には壁一面が本だになっている「本部屋」がある。ある日ぼくはなぜか、「本部屋」にある本を親にかくれてこっそり読みたくなった。

この本は、本があまり好きでない「ぼく」の、同級生との交流や読書体験を描いています。本が苦手なきみも「ぼく」の読んだ本を読みたくになったらぜひ図書館へきてくださいね。



『国谷裕子と考えるSDGsがわかる本』国谷 裕子／監修 文溪堂《329》

「SDGs (エスディーゼーズ) とは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」を表し、環境や人権保護、全世界の平和を実現するための計画です。

この目標を達成するため私たちに何が出来るかを考える本です。キャスターの国谷裕子さんが分かりやすく解説しています。

『ディア・ガール おんなのこたちへ』エイミー・クラウド・ローゼンタール、パリス・ローゼンタール／著

ホリー・ハタム／画 高橋 久美子／訳 主婦の友社《E/し12》

自分の外見や行動に自信がない時、自分が人と違うと思う時、不安になったり孤独を感じたりしませんか。そんな時はこの本を開いてみてください。「大丈夫」「私は私」と元気で勇気がもらえる本です。



## 大人のためのBookガイド

『カラスの教科書』松原 始／著 雷鳥社《488.99/マ》

カラス…ゴミを漁り、不吉を連想させ、時に人を襲うこともある真っ黒な鳥。何かと嫌われたり、怖がられたりしてしまう彼らですが、本書を読むと少し見方が変わるかもしれません。

本書はカラスを日々観察し続ける動物行動学者がユーモアを交え、カラスの生態に迫った「カラスの教科書」、カラスの一生から採餌行動、初級カラス語会話まで幅広く紹介されています。

実はフウチョウ(極楽鳥)の仲間だったり、マヨネーズ好きだったり…そんなカラスのお茶目な一面を覗いてみませんか？

『湿地』アーナルデュル・インドリダソン／著 東京創元社《949.53/イ》

人生が、いつも素晴らしいものとは限らない。

愛おしい家族が、誇らしい家族とは限らない。

人はいつも、問題を胸の内に押し込んでうつむきながら生きていく。

雨交じりの風が吹く10月のアイスランド、北の湿地にあるアパートで発見された老人の死体。人生に、家族に、恋人に、それぞれに問題を抱えながら捜査に当たるレイキャビック警察犯罪捜査官エーレンデュルとその部下たち。

被害者の、遺族の、容疑者の抱えた問題をたどる先でたどり着く、老人の過去と悲しい真実。

北欧の巨人が紡ぐミステリの人気シリーズ第一弾。

『フィンランド陶芸 芸術家たちのユートピア』山口 敦子／編 国書刊行会《751.3/フ》

日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を記念して開催された同題展示会の図録。フィンランド陶芸の歴史は19世紀末からと浅いが、パリ万国博覧会において高く評価され、国際的な潮流を生み出すまでに成長した。アーツ・アンド・クラフツ運動、美術工芸中央学校やアラビア製陶所美術部門の活動など、フィンランド陶芸の黎明期から最盛期までの歴史を137点の名作と共にたどる日本初の書籍。